

第6回 議員全員協議会

5月13日

概要

東日本大震災の対応等（4月22日以降）について、市長から説明がありました。避難所に避難されている

方々は、合計343人との報告がありました。また、住宅用家屋の被災状況や市に寄せられた義援金、寄付金等についても報告を受けました。

避難所食事の改善を

問 避難所の食事を工夫し、改善すべきではないか。

答 栄養のバランスが悪いことなどのご指摘を頂きました。できるだけ改善の努力をしていかなければならないと思います。

住宅の家賃に補助を

問 住宅家賃の補助制度をどう考えているか。

答 県は国の制度で行います。市としては、仮設住宅とのバランスとかいろいろな点から見て支援をさせていただきます。

集団移転への考えは

問 集団移転を考えているのか。その場合、どのように考えているか。

答 壊滅的な状況の沿岸部の町内の代表の方々と会議を持っており、市としてはできるだけの支援はしたいと考えています。

災害見舞金いつ支給

問 災害見舞金の受け付け

が始まったが、いつ支給されるのか。

答 1日も早くお届けすべくですが、要件に合致するか、二重申請になっていないかなど十分審査した上、5月末に1回目の支払い、口座振り込みをしたいと思っています。

市の計画の在り方は

問 震災復興会議が始まったが、市の計画の在り方を

どのように考えているか。
答 ちよつど総合計画の見直し時期でもあります。被災地については復興会議の答申を尊重し、最終的には市全体の総合計画に取り入れていきたいと思っています。

国・県に財政要請を

問 復旧、復興の国、県の役割や財政負担について、明確にするよう要請しては。

第5回

議員全員協議会

4月26日

被災地の視察を行い、南浜中央病院、巨名浄化センター、二野倉工業団地、県南浄化センター、矢野目工業団地、海浜緑地公園、仙台空港などの被災状況を確認しました。



県南浄化センターで説明を受ける議員

答 一義的には市が対応しますが、国で一定割合を負担することは地方自治の大原則です。また、国からのお金は特別交付税の2億円だけで、市の積立金を全額出しても足りません。今後国、県に働き掛けていかなければと思います。

林住宅の改修あるか

問 林住宅の改修は、どの

第4回

議員全員協議会

4月22日

概要

議会費を災害復旧へ

東日本大震災の対応等（4月7日以降）について、市長から説明がありました。

市関係施設について、東保育所や東児童館等の壊滅的な被害を受けた箇所を除き、合計約35億円の被害との報告がありました。

応急仮設住宅については、374戸となり、希望者全員が入居できるとの報告がありました。4月28日に第1次分の引き渡しを行い、今後2、3次の入居も予定されています。

定数・報酬条例を上程へ
議員定数条例及び長期欠席議員の議員報酬等について、各党派等の意見を集約し、6月定例会で提案することになりました。

ようにするのか。

答 県の担当者と現地確認をし、一部改修、一部取り壊しということを進めています。

平成23年度の議会関係予算について協議しました。

23年度予算のうち、行政調査の旅費等の全額約375万円、現議員の任期分の政務調査費約1333万円、その他の経費約156万円を災害復旧費に充てることを全会一致で了承しました。

長期欠席議員の議員報酬等に係る条例および規則の改正について協議しました。5月13日に開催する議員全員協議会で取りまとめることになりました。